

例会「早春の学園都市公園巡り」報告

| | | |
|--|--------------------|---------|
| 開催日：2023年3月8日(水) | 集合場所：JR常磐線荒川沖駅西口広場 | |
| 集合時間：9時00分～9時30分 | 開会式：9時30分～9時45分 | 終了後スタート |
| コース・距離：荒川沖駅→学園東大通り(乙戸沼公園)→梅の木通り(梅園公園)→つくば公園通り(洞峰公園→赤塚公園)→学園西大通り(つくばイオン→ひたちのみずべ公園)→ひたちの牛久駅 16km | | |
| ゴール時間：14時30分 | | |
| 参加者：23名(会員23名) | | 天候：晴れ |

ウォーキング状況等

TX沿線の各駅をスタート・ゴールとする、または常磐線最寄り駅を利用した学園都市公園巡りウォークが多くのウォーキング団体で実施されています。今回は常磐線の学園都市アクセス駅である荒川沖駅、ひたち野牛久駅を発着とする学園都市の南部および隣接都市の公園を巡るちょっと距離のある例会にしました。つくば市に2つある県営公園の両方、洞峰公園・赤塚公園及び観梅の穴場梅園公園を楽しむことができ、また、つくば市は美しい街路樹のある町として知られ、公園を結ぶ幅広い歩道は会話しながらのウォーキングにうってつけです。

前回の「みんなで歩こう水戸街道」と同様に荒川沖駅から旧水戸街道を進むと、すぐに東大通り入口が見え、筑波山方向に向かって左折する。乙戸沼公園を過ぎ、大角豆(さきぎ)交差点に来るともう学園都市エリアだ。梅の木通りの梅を見ながら、閑静な住宅街の遊歩道に入るとお目当ての梅園公園はもうすぐ。その名の通り梅林が見事な公園で、赤と白のきれいな梅の花が100本ほど植えられており、皆さん感動して話が弾んでいました。その後、こぶし並木のある住宅街(残念ながら咲いていたのはまだ数本)を抜けてつくば公園通りへ。原生林の木漏れ日を浴びながら洞峰公園に着く。しばし休憩後、春の息吹が感じられる洞峰沼を一周して赤塚公園へ向かう。

公園通りを南端に向かって15分程歩くと、アカマツ林が残る赤塚公園だ。植物を公園の構成要素の重点とし、植物園的景観を作り出した公園らしい。その静かで落ち着いた雰囲気の中で昼食にし、長めの休憩でくつろぐ。休憩後は学園西大通りの歩きで、都市部から田園風景のコースが変わった。常磐高速道の高架を抜けると、何でも揃っているつくばイオンに着き皆さんほっとする。ここでバスを利用して帰る参加者はいなかったのも、全員で歩きを再開する。建物、街路樹は少なくなり右側遠くに見える圏央道と平行して歩く。人の往来が殆どない歩道を皆さん自由気儘に和気あいあいと歩いて、ひたちのみずべ公園を経てひたち野牛久駅にゴールしました。

観梅となると水戸偕楽園、筑波山梅林が定番。今年は新しいところと考えたのが、地元の町内会・加盟団体のウォーキング大会、例会等で頻繁に実施されている梅園公園の梅林。これにつくば公園群の数か所を加え、STTW1つくば公園通り、及び地元担当者の地の利を生かした通りからなるコースで、ちょっと手抜き感があるのも否めない。しかし、参加者が他県及び県内全域に渡っているのも、このような例会も新鮮味があるとご容赦願えれば有難い。本会では会員提案の地元を中心としたフリーウォーク(STTW)を実施している。こういったコースの良さを地域限定版に留めず、多くのウォーカーに知ってもらえるような機会を作りたいと思っています。(戸田)